

3. 四国ブロックにおける重点事項

『安全で安心、いきいきと暮らせる地域づくり』

例年繰り返される台風・豪雨等による災害頻発箇所の解消を図るとともに、異常気象時や災害時の孤立地域の解消及び被害の最小化に向けて、住民の生命や財産を守るための「四国8の字ネットワーク」などの信頼性の高い道路整備をはじめとする効果的・効率的な対策を進める。

また、頻発する水不足に対応し、安定的に水を供給するための基盤整備等を推進するとともに、テロなどに対する危機管理体制を強化する。特に、想定される南海地震や津波の発生時等における被害の極小化への体制整備や、緊急輸送路・耐震岸壁をはじめとする沿岸地域等における地震・津波対策を重点的に推進する。

さらに、全国より進んでいる高齢化に対応して、ユニバーサルデザインの視点に立った人に優しい公共空間の整備を進める。

近い将来発生が確実視されている南海地震における津波対策をはじめとする震災対策を推進する。
高潮、洪水等の水害や土砂災害の頻発箇所の解消を図る。

地域住民の安全・安心な暮らしを支える信頼できる道路ネットワークの構築を図る。

S O L A S条約（海上人命安全条約）への対応等、安全の確保のため施設等の充実を図る。

ユニバーサルデザインの一環として、安全な交通環境の確保や住宅・歩行空間等におけるバリアフリー化の推進を図る。

暮らしや産業を支えるため安定的な水の供給を目指す。

『活力に満ちた地域づくり』

四国内外の交流・連携を支援するため、本四3架橋をはじめとする既存ストックの利活用、及びこれらと一体となった交通ネットワークの整備を進める。

また、地域経済を支える産業の活性化を図るため、港湾・空港などの拠点整備と合わせ、連携強化を図るよう、これら拠点とのアクセス性の向上に努める。

さらに、都市部においては、市街地のコンパクト化やまちなかの再生を図るため、各種機能の集積や都心居住等を推進するとともに、渋滞対策をはじめとする都市交通の円滑化の取組みを進める。

賑わいのある快適で魅力的なまちなかの再生を図る。

地域内連携を支える道路ネットワーク整備や空港等の拠点整備を推進する。

鉄道における技術開発の進展も見据えつつ、幹線鉄道の高速化を推進する。

『独自の魅力を創造する地域づくり』

美しい自然環境に加え、津々浦々に残っているみずべなどの「日本の原風景」や「四国霊場八十八ヶ所」をはじめとした歴史・文化等の特性を活かし、地域との協働・連携や地域主体の活動の支援を積極的に行いつつ、多様な交流拠点の整備を図るとともに、個性と魅力にあふれた地域づくりを進める。

また、水環境をはじめとする四国の豊かな自然環境を保全・育成及び再生し、後世に引き継ぐとともに、観光交流等を拡大するための基盤整備を進める。

身近な緑の保全・創出、日常的な余暇活動の場づくりや、地域の特色を活かし、人々が集い、様々な活動、交流の場となる拠点づくりを進める。

快適で美しい公共空間を形成するとともに、地域主体の取り組みを支援する。

お接待に代表される「もてなしの文化」や地域の魅力ある歴史など、四国のよさを活かした魅力ある地域づくりを推進する。

瀬戸内海や清流四万十川などの、世界に誇る四国独自の魅力を一層向上させるとともに、積極的に情報を発信する。

『地域産業の高度化・体力強化への支援』

ITの活用によるニュービジネスのチャンス創出、全国に先駆けるベンチャー企業の育成、産業拠点の開発や研究の促進等を支援するため、公共施設を活用した情報通信ネットワーク構築等の基盤整備を進める。

さらに、地域間や国際的な産業の競争力を強化するため、物流のスピードアップ、コストの縮減などを可能とする基盤整備を進める。

港湾、空港の物流機能及び保安対策の充実により産業の国際競争力強化を図る。

広域交流を支える幹線道路ネットワークの充実を図るとともに、広域交流機能を支える空港や重要港湾へのアクセス性を高める。